

【第1号議案】 2021年度事業報告・決算報告・監査報告承認の件

2021年度事業報告

(2021年4月1日～2022年3月31日)

1、フードバンク事業

フードバンク事業では、まだ食べられるのにさまざまな理由で廃棄される食品を個人や企業から寄贈してもらい、食の支援を必要とする生活困窮世帯や低所得で子育てするひとり親・ふたり親家庭への食のセーフティネット事業を支え、また地域の福祉団体などへ寄贈食品の無償提供を行う。

今年度は、食品企業の未利用食品や諸団体によるフードドライブ食品の寄贈拡大、他都市を含め、市民が購入して寄贈される食品も多く、寄贈食品入荷量は年間18トンに達しました。

狛江市より市庁舎内作業所と西野川の倉庫・事務所を貸与されて食品在庫スペースの拡張を図れたが、既に手狭になっています。そのため、子育て応援の準備や食品お渡し会では、食品保管場所を一時的に借りて取り組みました。また、車での集荷・配送作業を担う役員の高齢化で、配送車両の確保や運転に携わる作業のあり方が課題となっています。

(1) 食品の集荷・フードドライブ

2021年度入庫(食品寄贈)集計

|        | 4月    | 5月      | 6月    | 7月      | 8月      | 9月      | 10月     | 11月     | 12月     | 1月      | 2月      | 3月      | 合計 (Kg)  |
|--------|-------|---------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 市民     | 202.6 | 326.9   | 169.4 | 250.4   | 402.3   | 213.8   | 472.2   | 291.7   | 451.0   | 202.3   | 289.5   | 287.5   | 3,559.6  |
| 常設     | 117.8 | 34.5    | 149.3 | 238.0   | 127.2   | 157.9   | 262.1   | 170.9   | 180.6   | 165.0   | 112.0   | 255.9   | 1,971.2  |
| 企業・団体  | 388.8 | 869.3   | 418.8 | 918.7   | 708.2   | 1,005.3 | 653.1   | 1,176.8 | 1,542.5 | 897.3   | 1,332.0 | 583.7   | 10,494.5 |
| イベント   |       |         |       |         |         |         | 65.0    |         |         |         |         |         | 65.0     |
| 生協     | 12.0  |         | 10.8  | 85.1    | 305     | 825.4   | 0.0     | 2.0     | 205.5   |         | 421.0   | 255.0   | 2,121.8  |
| 購入     |       | 49.5    |       |         |         |         |         | 8.0     |         |         |         | 3.0     | 60.5     |
| 廃棄     |       | -14.6   | -1.3  | -9.7    | -16.4   | -9.6    | -3.1    | -7.1    | -11.6   | -23.8   | -9.8    | -35.0   | -142.0   |
| 合計(Kg) | 721.2 | 1,265.6 | 747.0 | 1,482.5 | 1,526.4 | 2,192.8 | 1,449.3 | 1,642.3 | 2,368.0 | 1,240.8 | 2,144.7 | 1,350.1 | 18,130.6 |
| (内米)   | 112.2 | 342.2   | 114.0 | 309.6   | 608.0   | 1,100.8 | 293.0   | 187.5   | 417.8   | 255.8   | 200.5   | 370.3   | 4,311.7  |

①市民寄贈

フードバンク事務所/倉庫への持ち込みや、宅配便で届けられた市民からの寄贈食品。新たに繋がった支援者や、家庭で使わない食品又は購入して食品を寄贈される方が、今年度も多くなっている。

②市内4か所の常設寄贈受付

コロナ禍で受付場所を増やせませんでした。寄贈量は昨年比1.3倍へ増加。食品を持ちこめる常設場所が地域に定着してきたといえます。

| 常設                 | 総重量(Kg) | うち米(Kg) | 2020年度<br>総重量 |
|--------------------|---------|---------|---------------|
| こまえくぼ1234          | 864.4   | 183.6   | 630.0         |
| 社会福祉協議会(あいとぴあセンター) | 743.3   | 185.7   | 346.8         |
| こまえ苑               | 264.2   | 120.6   | 278.2         |
| こまえ正吉苑             | 99.3    | 12.0    | 82.6          |

### ③企業・団体

全国フードバンク推進協議会幹旋企業からの食品寄贈だけでなく、尾西食品やローソン・ローソン銀行、ダイエーグループ店舗、カーブス6店舗、JA 東京中央会、市内の食品メーカーなど直接寄贈を受けることができました。

さらに市内の団体によるフードドライブは、商工会青年部や狛江市社会福祉法人連絡会が取り組み、食品ロス削減の社会貢献活動が広がっています。また今年度も、賛助団体 3 色パステルアートの購入食品の寄贈や、おてらおやつクラブ華蔵院(町田)のお供え物(果物等)のおすそ分け、福島支援で購入するお米の提供を受ける東京すずらの会、堀口珈琲、狛江三田会や天理教江東分会に加えて個人でも定期的に支援継続される方々が増えています。

狛江市商工会青年部フードドライブ



狛江市社会福祉法人連絡会フードドライブ



カーブス祖師ヶ谷大蔵店



おてらおやつクラブ町田華蔵院



三色パステルアート



#### 2021 年度食品等を寄贈いただいた企業・団体一覧 敬称略・順不同

|               |                  |                             |
|---------------|------------------|-----------------------------|
| 尾西食品株式会社      | 東都生活協同組合         | 生活協同組合パルシステム東京              |
| 三色パステルアート     | 生活協同組合コープみらい     | コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社         |
| 天理教江東分教会      | コープみらい調布染地店      | 町田華蔵院(おてらおやつクラブ)            |
| ポラン広場東京       | 東京すずらの会          | モランボン株式会社                   |
| 明治グループ        | 狛江市商工会青年部        | 狛江市社会福祉法人連絡会                |
| 株式会社ロッテ       | JA 全農経営企画部       | JA 東京中央会                    |
| カーブスジャパン      | グルメシティ三鷹中原店      | フーディウム下北沢                   |
| 堀口珈琲          | 株式会社ローソン/ローソン銀行  | 株式会社オシザワ                    |
| トータス往診クリニック   | ユウキ食品株式会社        | マルコム株式会社                    |
| 狛江三田会         | キューサイ株式会社        | 狛江ハイタウン防犯防災委員会              |
| 株式会社ゴールデンレイシオ | 株式会社 StockBase   | 株式会社プランニングオフィスエスエムエス        |
| 世田谷杉本商店       | 生活クラブフードバンク      | サントリーホールディングス株式会社           |
| 株式会社クラダシ      | アサヒグループ食品株式会社    | 全国農業協同組合連合会酪農部生乳課           |
| 農林水産省         | SOMPO ひまわり生命保険会社 | Premier Solution Japan 株式会社 |
| KENKO Coffee  | 株式会社ティーガイヤ       | 社会福祉法人せたがや檜の木会、上町工房         |
| 株式会社ビオクラ食養    | コヤマドライビングスクール    | 第一生命保険株式会社狛江営業オフィス          |
| 城南信用金庫        | 株式会社トラスト・ウィン     | 三井住友トラスト・ローン & ファイナンス株式会社   |
| フードバンク三鷹      | 世田谷区社会福祉協議会      | ナトーコーポレーション株式会社             |
| フードバンク調布      | 大分県東京事務所         | 全国珍味商工業協同組合連合会              |
| フードバンクかわさき    | 日本信号株式会社         | 一般社団法人食品ロスリポーンセンター          |

## 企業・団体と市民からの食品寄贈量年度別推移

| 年度     | 企業・団体寄贈量  | 市民の直接寄贈量 |
|--------|-----------|----------|
| 2021年度 | 10,494 kg | 3,559 kg |
| 2020年度 | 10,161 kg | 2,741 kg |
| 2019年度 | 8,462 kg  | 1,824 kg |
| 2018年度 | 5,289 kg  | 1,840 kg |



### ④イベントでのフードドライブ

10月30日狛江市消費生活展くらしフェスタが開催され、65kgの寄贈があった。

久しぶりに会員やはじめての支援者も訪れ、2年ぶりのイベントながらフードバンクが知られていることを実感しました。

### ⑤生活協同組合による支援

東都生協のフードドライブは、今年度も2回取り組まれ9月 396.8kg、2022年2月 346.7kg の寄贈を受けました。

さらに「未来につなぐ募金」や寄付を活用した臨時支援(食品提供)で約 25 万円相当の商品の寄贈を受けました。

パルシステム東京からは、お米 700 kgの寄贈、コープみらいからは、調布染地店のお米の提供と、さらに 2022 年3月から年間 3トンのお米の寄贈提案を受け、2022年の子育て応援に活かしていきます。

今年度は、生活協同組合 3 団体に加え、ポラン広場東京から2年ぶりに食品寄贈を受けるなど、生協との連携で食料支援事業が支えられたといえます。

コープみらい調布染地店



コープデリ三鷹センター



東都生協フードドライブ



### ⑥廃棄となる食品

市民寄贈やフードドライブでは、賞味期限が切れていたり不明な食品も寄贈されて、廃棄処分としている。

食品の管理上で賞味期限を切らしての廃棄はほとんどない。

## (2)地域の福祉団体への食品提供

コロナ禍の第1波の時期は、ほぼ団体への提供停止を余儀なくされたが、今年度は食堂系団体はお弁当の配布やパントリーだけでなく、感染対策を講じながら徐々に食事の提供に取り組んでいる。さらに狛江市内に新たに2団体の子ども食堂が開設されるなど、地域の活動中の団体や宿泊・食事提供のある団体にも食品提供ができるようになり、提供件数は昨年度98件から約 1.6 倍の 160 件となりました。 団体への提供総重量 = 4,504 kg

### 【連携団体の名称一覧】(敬称略・順不同)

|             |                |            |           |
|-------------|----------------|------------|-----------|
| ごはん+居場所おかえり | 子ども食堂ひかりっ子     | 月末食堂       | 狛江子ども食堂   |
| みんなの居場所     | コスモスこども・おとな食堂  | 多摩里子ども食堂   | 陽向会ワークひなた |
| グループホーム朋    | ひかり作業所         | 狛江共生の家     | 狛江正吉苑     |
| こま YELL     | NPO 法人えるぶ      | 狛江青年会議所    | 狛江市商工会青年部 |
| 狛江市子ども政策課   | フリースクール koppie | ホームこまえ通り   | 府中派遣村     |
| ハンズプレイス     | 野川のえんがわ こまち    | 狛江派遣村      | 簡易宿泊所若葉荘  |
| 遊育会狛江プレーパーク | フードバンク立川       | フードバンクかわさき | フードバンクみたか |

| 提供先  | 4月    | 5月   | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計(Kg)  |
|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 重量   | 315.4 | 23.4 | 336.3 | 636.4 | 353.3 | 251.2 | 366.3 | 381.3 | 303.5 | 214.8 | 200.2 | 989.0 | 4,371.1 |
| (内米) | 21.6  | 13.0 | 20.0  | 25    | 5.0   | 56.0  | 10.0  | 0.0   | 24.5  | 5.0   | 3.0   | 105.0 | 288.1   |
| 件数   | 19    | 4    | 10    | 15    | 16    | 12    | 12    | 17    | 15    | 18    | 7     | 17    | 162     |

## 2、食のセーフティーネット事業

食のセーフティーネット事業とは、狛江市との食料支援連携協定により、さまざまな理由で一時的に困窮し、食の支援を必要とする世帯へ、生活困窮自立相談窓口「こま YELL」からの依頼書をもとに、世帯に合わせた食品を提供する事業と、子育て世帯で収入の少ないひとり親・ふたり親家庭を対象に、学校給食のない時期に食料を提供する食料支援事業のこと。

これまで狛江市とは2017年4月1日「狛江市食料支援事業連携に関する協定」を交わし、生活困窮者自立支援事業への食品提供を行ってきました。さらに、2018年から取り組んできた低所得で子育てする世帯への「給食のない時期の食料支援」、及び「こま YELL」と子ども政策課によるひとり親家庭への学習支援事業で、子どもたちへの勉強の励ましでお菓子等を提供する取り組みを、協定として明文化するため、7月1日付けで「狛江市における食料支援の連携に関する基本協定」「年度協定」を締結しました。連携協定は、場所の提供と周知・広報の協力を内容とするもので、求めてきた事業の継続性を担保する何らかの「事業(運営)費の補助」は認められませんでした。

### (1)こま YELL を通じた食料支援

#### ① 市庁舎:自立相談窓口「こま YELL」への食料提供

毎週月曜・木曜の午後1時から3時、市庁舎作業所で食品寄贈受付と、こま YELL の依頼書をもとに世帯に合わせた食品セットをしている。10月の2者協議では、コロナ禍で依頼件数が増したことで、ボランティア1名対応での一回のセット数は18件に抑えて、それ以上は追加分や備蓄での対応としました。感染防止に留意してもらい、役員・スタッフの努力で、依頼件数に応えることができました。

「こま YELL」への提供件数は、長引くコロナ禍の影響で2020年度年間月平均件数97.5件、2021年度132.9件と増えています。内訳は単身世帯が76%で圧倒的に多く、年齢は働き盛りの20歳～40歳代が増えている。

市庁舎での食品セット



こま YELL との二者協議



同意書を見ると、外国籍の氏名やヤングケアラーと思われる10・20歳代もありました。提供件数は増加しましたが、実利用者数は2020年度118、2021年度117と変わらず、生活困窮から脱することが難しく、食料支援の継続期間が長期に亘ってきているといえる。「何カ月も食料支援を受けるのは生活保護受給要件を満たさないケース」とも言われ、また生活保護世帯が微増に留まっているのは、「生活保護受給への抵抗感も大きいこと」からとも考えられる。

| 提供先            | 4月   | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計(Kg) |         |
|----------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|---------|
| こまYELL<br>個人支援 | 重量   | 435.5 | 446.4 | 413.7 | 443.5 | 479.5 | 502.5 | 431.6 | 437.8 | 528.8 | 431.6 | 395.0 | 500.8  | 5,446.7 |
|                | (内米) | 143.5 | 145.0 | 156.5 | 158.9 | 169.9 | 172.9 | 142.1 | 143.5 | 153.0 | 128.0 | 127.0 | 174.9  | 1,815.2 |
|                | 件数   | 111   | 120   | 122   | 126   | 142   | 152   | 139   | 153   | 141   | 131   | 117   | 141    | 1595    |
|                | 備蓄件数 | 3     | 1     | 2     | 1     | 3     | 2     |       | 1     | 1     | 2     | 1     | 1      | 18      |

福祉相談課,こま YELL との三者協議

| こま YELL 個人支援 フードバンク利用者数(こま YELL 報告) |         |         |          |            |            |            |
|-------------------------------------|---------|---------|----------|------------|------------|------------|
|                                     | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度  | 2019 年度    | 2020 年度    | 2021 年度    |
| 食料提供回数                              | 233 回   | 478 回   | 682 回    | 646 回      | 1170 回     | 1595 回     |
| 月の平均支援回数                            | 20 回    | 39.8 回  | 56.8 回   | 53.8 回     | 97.4 回     | 132.9 回    |
| 食料支援量                               | 1,112kg | 2,780kg | 3,955 kg | 3,968.2 kg | 4,511.5 kg | 5,446.7 kg |



## ② 学習支援を受ける子どもたちへ、お菓子・飲料の提供

必ず手書きのメッセージをつけてお菓子を提供している。「沢山のお菓子ありがとうございます。…今の子は幸せです。」と、こま YELL 相談員に親からの気持ちが届きました。子ども政策課による、ひとり親家庭の小・中・高校生の学習支援は、こま YELL の学習支援と同じ時期に子どもたちにお菓子と飲料を提供。春には卒業・進級する子どもたちへお祝いの手書きメッセージを付けました。

子どもたちへのお菓子セット



|              | 夏休み    | ハロウィン | クリスマス  | 春休み  |
|--------------|--------|-------|--------|------|
| こま YELL 学習支援 |        |       |        |      |
| 件数           | 26     | 26    | 27     | 29   |
| お菓子・飲料提供量    | 31.2kg | 31.6g | 30.8kg | 29kg |
| 子供政策課学習支援    |        |       |        |      |
| 件数           | 29     | 24    | 19     | 16   |
| お菓子・飲料提供量    | 34.8kg | 26.4g | 20.9kg | 16kg |

## (2)「学校給食のない時期」食料支援で子育て応援

給食のない時期の子育て応援食料支援、7月は就学援助受給決定通知書発送時と児童扶養手当現況届提出案内の発送時に、また12月はひとり親医療証書送付時に「子育て応援の食料支援案内」を同封し、実施しました。

夏休みは176世帯、冬休みには180世帯、春休みは151世帯から応募があり、配送と直接受渡して食品を提供しました。2018年度に年間延べ133世帯のひとり親家庭に食品提供はじめて、今年度就学援助を受給するふたり親にも対象を広げ、3.8 倍の 507 世帯へ届けることができました。子育て応援食料支援はフードバンク狛江の事業の柱となってきています。

同時に実施している親御さんへのアンケートの回答は、食品寄贈者やフードバンクスタッフへの感謝の言葉であふれ、また直接受け取りに来る世帯が5

ふたり親世帯用セット



割を超え、スタッフと声を掛け合える取り組みになっています。

コロナ禍でボランティアの参加制限をし、少人数での活動を余儀なくされるなか、スタッフの頑張りや役員の協力で継続しましたが、支援件数の一層の増加が想定され、活動を担うメンバーの高齢化などもあり、作業のやり方や地域の力を借りるなど、事業の持続可能性の模索が必要となっています。

お渡し会当日の様子



(詳細はホームページ「ひとり親子育て応援」を参照 <https://fb-komae.org/>)

給食のない時期の食料支援のほか、賞味期限の迫った在庫食品や大量に食品寄贈があった時に、臨時で「おすそ分けお渡し会」も実施している。

今年度は11月8日、JA東京中央会からの野菜の寄贈と、農水省の学校給食用政府備蓄米 300kg の交付を受けて、夏休み支援で繋がった 71 世帯に西野川倉庫で「野菜とお米のおすそ分け受け渡し会」を行いました。

松原市長に子育て応援食料支援を要請



柏原教育長に就学援助受給世帯への支援協力を依頼



| 支援申込数    |     |         |       |           |
|----------|-----|---------|-------|-----------|
|          | 世帯数 | 18歳以下人数 | 親+子供数 | 食料支援量     |
| 2022年春休み | 151 | 250     | 427   | 1925.9 kg |
| 2021年冬休み | 180 | 294     | 538   | 1859.8 kg |
| 2021年夏休み | 176 | 291     | 504   | 1802.9 kg |

| 子供(18歳以下)の人数内訳 |         |          |         |         |
|----------------|---------|----------|---------|---------|
|                | 小学生未満   | 小学生      | 中学生     | 高校生     |
| 2022年春休み       | 37(14%) | 97(38%)  | 61(24%) | 55(22%) |
| 2021年冬休み       | 50(17%) | 105(36%) | 71(24%) | 68(23%) |
| 2021年夏休み       | 47(16%) | 104(36%) | 76(26%) | 64(22%) |

### (3) こま YELL 以外の緊急食料支援の状況

他都市からのメールや電話による食料支援 SOS への対応も行ってきました。地域のフードバンクとして原則他都市の個人支援は行ってないが、緊急支援として原則一度限りという理解を取り、食料提供する。SOS の状況を聞き、その行政区で受けられる公的・民間の支援先やフードバンクを紹介し、継続支援を受けてもらえるよう薦めています。

また、行政窓口が閉まっている5月連休と年末始の SOS に対応して、福祉相談課からの要請で食料支援セットを準備していますが、使われることはありませんでした。

|         | 件数      | 総量 kg        |
|---------|---------|--------------|
| 他都市個人支援 | 17      | 75.1         |
| 狛江市個人支援 | 5       | 29.0         |
| 計(昨年度)  | 22 (15) | 104.1(109.5) |



SOS の食品セット

## 3、フードバンクの普及・啓発事業

新型コロナウイルス感染拡大2年目、終息の見通しがたらず、イベントは中止、講演会や交流会も開催できず、工場見学などの事業にほとんど取り組めませんでした。一方、収入が減り仕事を失うなどで生活困窮に陥る人の増加が懸念され、フードバンクへの期待や需要はこれまでになく高まっています。感染防止策を徹底しながら、寄付の増加やコロナ禍の要請増に応えられるよう事業を継続し、フードバンクの普及・啓発のために広報にも取り組んだ。

### ① 10月の食品ロス削減月間

26日から29日まで市庁舎ロビーで「食品ロス削減」を呼びかけるパネル展示を行いました。

また10月30日「食品ロス削減の日」には2年ぶりに狛江市消費生活展くらしフェスタが開催され、久しぶりにイベントでフードドライブと広報活動ができた。

しかし、コロナ禍で集まれなかった「フードバンクとつながる団体交流会」は2年続けて開催できませんでした。

市庁舎パネル展示



福祉カレッジで講演



### ② 理事長の講演による広報

狛江市社会福祉協議会より今年度も福祉カレッジから講演依頼を受け、10月23日あいとぴあセンターでコロナ禍での活動について話した。

### ③ 媒体を利用した広報活動

各媒体を通して、食品寄贈やお金の寄付、ボランティア希望が寄せられ困窮者から食料支援の SOS の連絡も入ります。

#### ・紙媒体

イベント、講演会開催に向けてチラシやポスターを作成し活用した。

今年度はチラシの作成に、生活クラブ福祉事業基金第 5 次コロナ禍助成金を一部活用しました。

|   |            |   |
|---|------------|---|
| ニュースレター                                   | 合計4回       | 2021年 6月 No.27<br>2021年 9月 No.28<br>2021年 12月 No.29<br>2022年 3月 No.30   |
| チラシ<br>公営掲示板・公共施設・<br>町内会・スーパー等で<br>配布/掲示 | 合計 9,200 枚 | 2021年 6月 4,000 枚：夏休み子育て応援食品寄贈<br>2021年 9月 1,000 枚：食品ロス削減月間<br>2021年 11月 2,000 枚：冬休み子育て応援食品寄贈<br>2022年 9月 2,200 枚：春休み子育て応援食品寄贈 |

#### ・インターネット媒体

|          |                  |   |
|----------|------------------|---|
| facebook | 7日～10日ごとに更新(理事長) | <a href="https://www.facebook.com/foodbank.komae/">https://www.facebook.com/foodbank.komae/</a> |
| ホームページ   | イベントの告知や報告随時更新   | <a href="https://fb-komae.org/">https://fb-komae.org/</a>                                       |

#### ・テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、広報誌など

|              |            |                         |
|--------------|------------|-------------------------|
| 2021年 6月     | こま eco 通信  | 食品ロス削減 NPO法人フードバンク狛江    |
| 7月 1日        | 広報こまえ      | 夏休みひとり親等食料支援に食品寄贈呼びかけ   |
| 7月 2日        | 狛江の FM ラジオ | コロナ禍の活動と子育て応援食品寄贈呼びかけ   |
| 11月 15日      | 広報こまえ      | 冬休みひとり親等食料支援に食品寄贈呼びかけ   |
| 11月 19日      | 狛江の FM ラジオ | 子育て世帯への冬休み食料支援の食品寄贈呼びかけ |
| 2022年 1月 15日 | 狛江の FM ラジオ | 中島信子副理事長の新刊本「あしたへの翼」紹介  |
| 2月 11日       | 狛江の FM ラジオ | 子育て世帯への春休み食料支援の食品寄贈呼びかけ |
| 3月 1日        | 広報こまえ      | 春休み子育て応援の食品寄贈呼びかけ       |



- ・その他 ポスターの掲示＝和泉エンジニアリングサービス(東和泉)の専用掲示板、「こまえくぼ 1234」掲示板、木村メガネ店頭や支援者宅での掲示。

## 4、フードバンク活動を普及するための調査・研究事業

子育て応援食料支援で申し込みのあった家庭に、配送・受渡し時にアンケートを同封し、実施しました。

#### ・夏休み支援(回答 80/支援数176)：

質問 1) コロナ禍2年目で暮らし(生活や仕事など)に変化はありましたか？

質問 2) 申込み理由や、食品を受け取った感想など、ご自由にお書きください。

#### ・冬休み支援(回答 68/支援数180)：

質問 1) どちらかに○をつけてください:あなたの世帯構成は→ひとり親世帯54、ふたり親世帯15

質問 2) 子育てをされるうえで、現金や食料などの支援以外に、どんな支援があったら良いか(複数回答)

子ども食堂と勉強や遊びの居場所→30  子どもの学習支援→42

親子で楽しむ体験イベント→12  親同士で交流できる場所→10  その他→9

- ・春休み支援(回答 83/支援数151) :

質問 1) 今回の春休み子育て応援で、どのように食品を受取りましたか？ → 宅配30、直接53

質問 2) 世帯の種類を選んでください → ひとり親世帯67、ふたり親世帯16

質問 3) 受け取った感想を教えてください。

質問 4) コロナ禍が続くなか、進級・進学にあたってお子様の様子はいかがですか？

質問 5) 当団体がイベントを企画した場合、参加したいと思いませんか？ → はい50、いいえ33

「はい」の場合、どんな企画を希望されますか → 野菜・果物収穫33、交流会6、その他11

(詳細はホームページ <https://fb-komae.org/> 実施報告書を参照)

## 5、事業を支える組織基盤と運営について

変異株のコロナ感染拡大により、今年度も狛江市との連携協定を基に、地域の諸団体と連携を強め、フードバンクを「地域の仕組み」として強化していくチャンスでしたが、足踏みすることとなった。しかし、社会的にもフードバンクへの期待が大きいなか、寄付や寄贈が多く寄せられことや、役員・ボランティアの頑張りでも少人数、短時間を心掛けて、増加した支援要請に応じて事業を継続して来られました。また、2か所での活動は、新たな組織運営の方法を模索しながら、コロナ感染防止を図りながらの活動となりました。

### (1) 食品管理と事務所機能の改善

#### ① 西野川の事務所/倉庫での活動。

事務所、倉庫の移転により、倉庫面積の拡大、備品類の整備で食品在庫量と管理を充実することができました。開所日活動の担い手として有償スタッフ2名と、役員や数名のボランティアの参加で何とか活動の継続ができた。

事務所・倉庫では企業・団体からの寄贈食品をはじめ、開所日は寄贈受付場所として知られるようになって、市民寄贈が増え、さらに定期的に届くお米や他都市からの食品も届き、地域の諸団体が食品を受け取りに来る場所として、対応に忙しい日も多かった。

子育て応援食料支援の食品セット・発送や食品の直接受け取りも倉庫で取組み、スタッフの熟練や準備の手際の良さで、スムーズに進めることができました。子ども連れで取りに来るケースも増えた。3年目を終えて、スタッフから温かい声かけが、子育てへの励みや支えになっていると感謝の声が多くなっています。

一方で、年間の取扱量が18トンを超えるようになり、倉庫が手狭になって、冬休み子育て応援の食品発送準備期間には他に倉庫を借りて食品を移して作業することになりました。また、支援世帯も延べ500件を超え、一回の食品セットが180から200世帯に近づいてきて、作業スペースや作業方法が問題となっています。

手狭になった倉庫作業



#### ② 市庁舎作業所の活動

作業所内が密にならないよう役員・有償スタッフなど少人数で活動する時期もあったが、第6波を経過してまん延防止期間においても、市民寄贈受け付けは止めずに継続してきた。今後も感染防止策の徹底を図りながら、さらにこま YELL からの依頼件数の増加に対応できるよう、ボランティアの募集や参加も検討していきたい。作業所開所日には食品セットと西野川倉庫から運ばれる食品棚入れ、在庫確認を行うが、使いやすい食品棚の整理等が必要となっていて、月一回の棚卸しに取り組んでいきます。

狛江市庁舎作業所



## (2) ボランティアの参加と育成

コロナ感染防止で毎週月曜・木曜に活動に来る役員・ボランティアは、月毎にシフト表によって計画的に活動参加するよう取り組んでいる。しかし、役員・ボランティアの高齢化により、ボランティアの募集・育成が不可欠です。

ボランティア参加状況 平常の活動は役員 6 名、ボランティア 12 名で対応

・市庁舎作業所 活動日毎 2～3名(役員 1 名、ボランティア 1～2 名)

・倉庫/事務所 活動日毎 2～3名(役員 3 名、ボランティア 3～4 名)

コロナ禍で集まることもできないなか、2 か所に分かれて作業することで、団体の求心力のない活動を余儀なくされ、今年度も冬には忘年会キットを準備し、関わってきた役員・ボランティアに配布したりもしました。活動や情報の共有や参加を促すために、SNSの活用やボランティアニュース発行も課題となっています。

事務所作業の様子



## (3) 組織基盤の整備

### ① 持続可能な事業活動のために。

業務執行の決定を行う理事会は、オンラインも活用して毎月定期的に開催できた。理事会での議論は、少人数での活動を迫られて、理事もスタッフとして直に活動にかかわって、課題を実感できるようになりました。

しかし日常の細かな判断は事務局に委ねられるため、事務局の実質的な企画遂行機能が求められました。

事務局では、有償スタッフを中心に、仕事の分担が明確化されてきて、食品管理や会計・組織管理事務等のデータ入力方法の見直しも図ってきています。また随時、事務局会議・打合せを開催し、事業の取り組みの詳細を決めるやり方で、子育て応援事業等を進めることができています。

しかし、少人数のスタッフへの負担増や高齢化の問題など、事業を今後の持続可能な活動とするために、連携する諸団体をはじめ、積極的に地域の力を借りて進めて行く必要があります。

### ② 組織の現状と組織課題の解決に向けて。

会員の加入状況については、3 月31日現在、正会員42名(昨年44名)、賛助会員個人43名(昨年51名)、団体6(昨年 5)で、昨年度より減少しました。コロナ感染の中でも、会員への働きかけや会員継続・拡大など支援者の拡大につながる活動が必要です。

組織課題の解決に向けて取り組むべき一年が、コロナ禍で先延ばししてきた感は否めない。ほぼ全ての活動を担う専従役員の 2 名が大きく、理事会では事業ごとに理事の分担を決めていますが、進んでいない問題は解決途上となっています。また、組織基盤確立に諸規定の整備に取り組んでいる。

### ③ 事業資金の確保と財政基盤の確立。

今年度もフードバンクに多くの寄付が寄せられ、高額の寄付者には「太郎の窓」(副理事長で児童文学者の中島信子氏著書)を贈呈しました。

・寄付者総数：270件、寄付総額：2,119,116円(昨年287件、2,838,940円)

企業、団体 5団体(三菱UFJ信託銀行、一般社団法人水澤、天理教江東分教会、狛江三田会、三色パステルアート)

個人265名 \*クレジットでのマンスリーサポーターは14名

・助成金：2021年 4月 赤い羽根中央共同募金会 100,000円

12月 MDRT 助成金 200,000円

12月 生活クラブ福祉事業基金新型コロナウイルス感染拡大による第5次助成 300,000円

2022年 3月 全国フードバンク推進協議会 80,575円

\* MDRT とは世界で活躍する生命保険募集人のプロフェッショナルが会社の垣根を越えて相互研鑽や社会貢献活動をしている団体。

会員の拡大と地域の企業・団体や個人の賛助・寄付によって、事業財政基盤の確立を目指しましたが、コロナ感染拡大により積極的な訪問活動は行わなかった。今後、持続可能なフードバンク事業を支えていくために、役員の高齢化や活動を担うボランティアの不足を補う必要から、報酬を伴う役員・スタッフの確保に、人との接触が制約されるコロナ禍にあっても、積極的な事業資金の調達に取組むとともに、必要な助成金の獲得を目指す。

6、2021年度活動経過（2021年4月1日～2022年3月31日）

| 年    | 月   | 日       | 活動内容                              |
|------|-----|---------|-----------------------------------|
| 2021 | 4月  | 7日      | 狛江市松原市長との面談                       |
|      |     | 20日     | 狛江市教育委員会柏原教育長と面談                  |
|      |     | 23日     | 福祉相談課・こま YELL との三者協議              |
|      | 5月  | 22日     | 第5回通常総会開催                         |
|      | 6月  | 8日      | 福祉相談課と食料支援連携協定について協議              |
|      |     | 29日     | 学校教育課と就学援助受給世帯への夏休み食料支援打ち合わせ      |
|      | 7月  | 1日      | 狛江市と食料支援連携に関する協定を締結               |
|      |     | 2日      | FM ラジオコマラジ出演(食品寄贈広報)              |
|      |     | 12日     | 子ども政策課とひとり親世帯への夏休み食料支援打ち合わせ       |
|      |     | 29日     | 夏休み子育て応援の食料支援申し込み開始(～8月9日締切)      |
|      | 8月  | 2日      | こま YELL・子ども政策課の学習支援にお菓子を子どもたちに提供  |
|      |     | 2日～12日  | 夏休み子育て応援食品受渡し・配送                  |
|      | 9月  | 10日     | 東都生協フードライブ食品の仕分け・寄贈受取り            |
|      | 10月 | 6日      | 福祉相談課・こま YELL と3者協議               |
|      |     | 14日     | こま YELL との2者協議                    |
|      |     | 21日     | こま YELL の学習支援にハロウィンのお菓子を子どもたちに提供  |
|      |     | 23日     | 福祉カレッジで理事長講演                      |
|      |     | 26日～29日 | 食品ロス削減月間、市庁舎ロビーでパネル展示             |
|      |     | 28日     | 子ども政策課の学習支援にハロウィンのお菓子を子どもたちに提供    |
|      |     | 30日     | 食品ロス削減の日、くらしフェスタでフードライブ実施         |
|      | 11月 | 4日      | 子ども政策課とひとり親世帯への冬休み食料支援打ち合わせ       |
|      |     | 7日      | 子育て応援、JA 東京中央提供の野菜とお米のお裾分けお渡し会    |
|      |     | 19日     | FM ラジオコマラジ出演(食品寄贈広報)              |
|      |     | 21日     | 商工会青年部によるフードライブ実施、22日に寄贈受ける       |
|      |     | 22日     | 冬休み子育て応援、第1次食料支援申し込み開始(～12月1日締切)  |
|      | 12月 | 2日～9日   | 冬休み子育て応援、第1次食品受渡し・配送              |
|      |     | 22日     | 第2次子育て応援ひとり親食料支援申し込み締切            |
|      |     | 23日     | 冬休み子育て応援食料支援発送終了                  |
|      |     | 23日     | こま YELL・子ども政策課の学習支援にクリスマスのお菓子を提供  |
| 2022 | 1月  | 6日      | 市庁舎仕事始め                           |
|      |     | 14日     | FM ラジオコマラジ出演(中島信子副理事長の新刊紹介)       |
|      |     | 24日     | 社会福祉法人連絡会からフードライブ品の寄贈受取           |
|      | 2月  | 11日     | FM ラジオコマラジ出演(食品寄贈広報)              |
|      |     | 17日     | 東都生協フードライブ食品の仕分け・寄贈受取り            |
|      |     | 21日     | カーブス3店舗からフードライブ食品寄贈               |
|      |     | 22日     | 春休み子育て応援、食料支援申し込み開始(～28日締切)       |
|      | 3月  | 8日～13日  | 春休み子育て応援、食品受渡し・配送                 |
|      |     | 18日     | コープみらいから2022年度毎月お米250kgの寄贈第1回目受ける |